

飯田市歴史研究所

〒395-0002

長野県飯田市上郷飯沼3145

電話 0265-53-4670

ファクシミリ 0265-21-1173

E-mail iuhr@city.iida.nagano.jp




飯田市 歴研ニュース

平成18年度の事業概要

今年度計画している各種事業の概要をお知らせします。

調査研究活動

○基礎共同研究

研究・教育・市誌編さんなど、歴史研究所のあらゆる活動の基礎となる歴史資料について、6つのテーマに基づいた長期的な共同調査を行います。集めたデータは市民の皆さんや研究者の方々が利用しやすいように整備・公開します。

- A 下伊那地域における近世・近現代史料の所在状況に関する悉皆的研究
- B 聞き取りによる史料調査
- C 下伊那地域における近世・近現代史料の拠点型・現状記録調査及び採集調査
- D 飯田・下伊那地域における歴史的建造物の所在状況に関する悉皆的調査及び研究
- E 地域史研究における学校史料の保存と利用
- F 下伊那の戦時体制資料調査

○基礎研究

研究員・調査研究員・顧問研究員などが、それぞれの関心に基づいてテーマを設定し、飯田・下伊那の歴史に関する専門研究を行います。研究成果は出版物や研究会など、さまざまな手段を通じて市民の皆さんに還元します。



建造物調査

出版活動

- 『歴史研究所年報』第4号
- ジュニア・ライブラリー2
- 聞き書き報告集『下伊那のなかの満洲』第5集
- 同『飯田町の暮らし3』
- 松尾森本家調査報告書
- 史料集『時報・村報にみる満洲移民』
- 市制70周年(平成19年度)記念刊行物 発行準備

その他

○歴史研究活動に対する助成

平成17年度と同様(→3ページ参照)、飯田・下伊那地域を対象とするオリジナルな歴史研究の成果に対して、審査の上助成金を交付します。

○長野県史料協総会

長野県史料保存活用連絡協議会が主催する平成18年度総会を、歴史研究所において行います。

日程 5月23日(火) 会場 歴史研究所



聞き取り調査

各種講座等

○飯田アカデミア

第一線で活躍する歴史学者が研究成果をわかりやすくお話しします。→詳細は2ページ

○研究会

年に1度研究会を開催し、シンポジウムと地域史研究の成果報告を行います。

8月26日(土)・27日(日)

今年度の予定

シンポジウム「歴史のなかの町並みと建造物」

建築家・安藤忠雄さんの講演を予定しています。

○ゼミナール

実践的に歴史を学ぶ、ゼミ形式の歴史講座。受講生が自ら研究を行えるよう基礎力を養います。平成17年度に引き続き近世史ゼミ、近現代史ゼミ、現代史ゼミを開講します。→詳細は2ページ
ほかにも市民を対象とした学習会や、ジュニア向け講座などを企画します。

○月例研究会

研究所のスタッフなどによる研究報告を毎月公開で行い、地域の歴史について皆さんとともに考えます。

○ミニ・シンポジウム「伝統社会と地域」

トヨタ財団研究助成に基づき、中国・韓国から歴史研究者を招いて地域史研究に関するシンポジウムを開催します。6月10日(土)開催



月例研究会

飯田アカデミア 2006

飯田アカデミアは、大学の専門課程レベルの講座です。毎回歴史学を中心とした研究者を講師に、研究の最前線を講義します。2006年度の講座をご案内します。

6月17(土) 講師:近藤和彦さん(東京大学教授)
18(日) イギリス史

7月15(土) 講師:森 武磨さん(一橋大学教授)
16(日) 近代経済史

9月16(土) 講師:西村幸夫さん(東京大学教授)
17(日) 都市デザイン論

12月16(土) 講師:陣内秀信さん(法政大学教授)
17(日) 建築史・都市史



3月に開催した加藤陽子さん(近現代政治史)を迎えてのアカデミア

■時 間

1日目(土曜日) 13:30~17:00

2日目(日曜日) 10:00~14:30

※90分の講義を4回2日間にわたって行います。

■会 場

飯田市歴史研究所(飯田市上郷支所庁舎)

3F会議室

■募集人員 各講座30人

■受講料 資料代として500円(2日間分)

※2日目の昼休みには、講師を囲んでの昼食交流会を行います。(会費1000円)

■お申込方法 電話、ファクシミリまたはEメールで、飯田市歴史研究所へお申し込みください。

※ファクシミリまたはEメールでのお申し込みは住所・氏名・電話番号を明記してください。

※各講座の内容と1月以降の日程は、後日改めてお知らせします。

5月の月例研究会

月に1度研究所員が研究内容を報告し、参加者が自由な意見交換をする研究会です。事前の申し込みは不要ですので、気軽にご参加下さい。

この1年、橋北・橋南・東野地区の歴史資料を探してきました。その成果から明らかになったことと積み残された課題を話します。

■報告テーマ

「丘の上」における
史料所在調査の成果と課題

■報告者 多和田雅保研究員

■日 時 5月13日(土) 午後2時~4時

■場 所 りんご庁舎3階会議室
(本町1丁目)

※4月の月例研究会はお休みです。

歴研ゼミナール 新期ゼミ生募集!

参加者のみなさんと一緒に歴史の研究を行い、研究方法を学んでいただくための講座を開いています。「教える」ではなく「ともに学ぶ」ことを目指しています。この春からの新ゼミ生募集中!電話でお申し込みください。

近世史ゼミ

- 対象 一般
- 開催日 隔週火曜日(初回4月11日~)
- 時 間 午後7時~8時40分
- 担当 多和田雅保(研究員)

「近世下伊那の民衆生活史」

江戸時代、下伊那では町や村で普通に暮らした民衆が地域の主人公でした。彼らの生活にまつわる資料の解説方法を身につけながら、下伊那の歴史を探訪します。歴史の勉強が初めてという方を歓迎します。

近現代史ゼミ

- 対象 一般
- 開催日 隔週木曜日(初回4月13日~)
- 時 間 午後7時~8時40分
- 担当 田中雅孝(調査研究員)

「地域社会史入門~飯田町の記憶を探る」

市井に暮らす庶民の「記憶」に耳を傾けることから地域史の方法を探るため、戦前期の飯田町に子ども時代を過ごした人々からの「聞き書き」調査を進めます。また、歴史景観と地域づくりを結びつけて歴史認識を深めるために、地域フィールドワークや他地域への小旅行も予定しています。

現代史ゼミ

- 対象 高校生以上
- 開催日 隔週水曜日(初回5月10日~)
- 時 間 午後7時~8時30分
- 担当 鬼塚 博(研究員)

英語文献講読

「グローバル化と地域社会」

英文テキストやビデオ映像を使って、グローバル化とその地域社会への影響を考えるセミナーです。このトピックを考える上で、飯伊地域は非常におもしろい素材です。毎回ごとにトピックを完結するので、単発での出席も可。社会科学系・語学系を目指す高校生も歓迎です。



募集 著書 論文

飯田歴研賞 2006

飯田下伊那の地域史研究における優れた著書・論文を表彰します。6月末までに推薦作品を歴史研究所までお送りください。自薦・他薦を問いません。

■著書部門:2005年度発行の刊行物(自費出版物も含む)

■論文部門:2005年度発表の論文

歴史研究所で審査を行い、8月26・27日の研究集会にて表彰します。

吉田伸之

歴史研究所研究部長・
東京大学教授。
専門は日本近世史、
都市社会史、文化史。
『21世紀の「江戸」』、
『身分的周縁と社会=文
化構造』、『成熟する江
戸』など、多数の著書が
ある。



東京南部に生まれ育ち、半ば根無し草の私が飯田・下伊那に関わりはじめて、はやくも5年余りがすぎました。上郷支所の二階・三階にたち上がった歴史研究所を訪れるたびに、こうしたユニークな研究機関を実現させた飯田市と地域市民の方々への敬愛の念を新たにします。取り組みたい事業は山のようにありますが、研究所の力量にみあったかたちで、一步ずつ前進してゆきたいと思えます。

この5年間に私が学んだことはたくさんありますが、なかでも地域の歴史と文化を考える方向性をみだしつつあることが一番大きな収穫です。人々のなげないふるまいやことばづかい、見慣れた町並みや山々の自然、こうしたものの一つ一つに、この土地で生まれ、育ち、暮らし、働き、つまり生きてきた過去や現在のすべての人々の営みがつみかさなり、人々の心が宿っていることを痛切に感じます。それらの全体が地域の歴史であり、地域の文化なのではないでしょうか。

NHKの大河ドラマや“その時歴史が動いた”などで好んでとりあげられる源義経やら山内一豊の

妻やらもいいですが、同じようになりかえされる割には新しい事実がほとんど出てこないような有名人の人生—多分に粉飾された—だけが「歴史」のように思いこまされてはいないでしょうか。私や私につながる人々、身近な地域の人々が織りなした過去から現在にいたるさまざまの人生のつみかさなり、こうした地域の歴史に埋もれる無数の“宝物”を一つでも多くていねいに掘り出してゆくことの方が、むしろずっと大事なことのように思えます。歴史研究所の大きな柱は、歴史資料や建造物の調査、また市民の方々からの聞きとりなどを通じて、そうした地域の歴史をたしかなものとすることにあります。

平成17年度 歴史研究活動助成

歴史研究所では、歴史研究を行っている個人または団体に助成金を交付しています。17年度は、申請いただいた方々のうち、審査の結果、次の皆さんを助成対象とさせていただきます。

平成17年度 助成対象研究

- 粟谷真寿美 「大日本実行会の成立」
- 飯伊婦人文庫 「飯田・下伊那地方における大正時代の青年運動から今日までの「読書会」の歴史を調べる」
- 伊賀良を広める会 「伊賀良の石造文化財の調査」
- 中平歴史研究会 「佐倉信仰を考える」



助成研究発表会

飯田・下伊那に暮らす皆さんや、大学生・大学院生の方々が、地域史の研究活動をよりよい環境で行えるように始めた研究活動助成も、これで3回目となりました。今回の研究はどれも深い問題関心と綿密な調査活動に基づいて行われた力作ぞろいでした。いずれも今後の地域史研究が発展するうえで、地域の重要な共有財産となるものばかりだったといえます。

3月18日の研究発表会は、報告者の皆さんの熱い思いを感じることができる、すばらしいものでした。

研究所ではこの制度を通じて、地域の皆さんとの間で交流を深め、また将来の歴史研究の担い手となる方々に、飯田・下伊那に興味を持っていただくことを願っています。今後とも積極的な申請をよろしくお願いします。

歴研ゼミだより 2月・3月の内容

各ゼミの2月・3月に行ったことをご紹介します。

近世史ゼミ

ゼミ生報告
2月7日 「明神講制約規約書」
2月21日 「近世の扶養問題」
3月7日 「「下郷」としての村々のつながり」

近現代史ゼミ

2月9日 文献講読・中村政則『労働者と農民』
2月23日 同上
3月9日 堀口氏に聞く「飯田町の発展」
3月30日 聞き書き報告集出版記念会・反省会

(英語文献講読)
現代史ゼミ

2月8日 Women in development 開発における女性
2月22日 The export of women 女性の輸出
3月8日 Gender and nationalism ジェンダーとナショナリズム
3月22日 Video “The battle for the world economy; The new rules of the game”
ビデオ「世界経済の戦い—ゲームの新しいルール」

新刊紹介

聞き書き報告集④
下伊那のなかの満洲

戦時下、多くの移民を「満洲」へ送りだした飯田・下伊那地域。その背景、実態は文字史料からだけでは明らかにできません。「満蒙開拓を語りつぐ会」は帰国者から体験を聞き書きし、報告集にまとめています。

今回は満洲国民学校の教師や農業開拓民として渡った方々など、8人の語りを収めました。

これまでに発刊した第1～3集も増刷し、販売しています。あわせてお買い求めください。

定価500円／B5判 276頁
満蒙開拓を語りつぐ会編、飯田市歴史研究所発行
販売所 歴史研究所、市役所庶務課行政資料コーナー
問合せ 歴史研究所



松花江の冬景色 歴史研究所 所蔵

歴研日誌

2月

- 1月31日～2月2日 公文書館実務担当者研究会（国立公文書館）出席
- 4日 世界史研究所で報告「史料に見る満洲移民」（齊藤俊江）
- 5日 信濃史学会86回セミナー（県立歴史館）で報告「近世飯田町研究の課題」（多和田雅保研究員）
- 7日 近世史ゼミ
- 8日 現代史ゼミ
- 9日 座光寺史料調査会、近現代史ゼミ
- 15日 国土地理院関東地方測量部で戦後空中写真調査
- 16日 大口勇次郎聖徳大学教授から図書の寄贈を受ける
- 18・19日 飯田アカデミア第24講座「貨幣から古代社会を探る」開催。講師は三上喜孝さん（山形大学助教授）
- 21日 近世史ゼミ
- 22日 現代史ゼミ
- 23日 近現代史ゼミ
- 25日 月例研究会「昭和初期の飯田市の商工業者層」（田中雅孝調査研究員）



3月

- 1日 『下伊那のなかの満洲』第1～3集増刷
- 6日 「先達に聞くー飯田市柿野沢での「道普請」に学ぶー」（南信州ひと・みちフォーラム主催）に参加
- 7日 近世史ゼミ
- 7～10日 建造物調査
- 8日 現代史ゼミ
- 9日 近現代史ゼミ
- 10日 『下伊那のなかの満洲』第4集発行
- 12日 新城市奥三河芸能祭で『わたしたちの飯田線』販売
- 15日 茨城県熊谷勲さん聞き取り調査
- 16日 茨城県岩間いちみさん聞き取り調査
協同合資会社史料所在調査
- 17日 座光寺矢沢通則さん聞き取り調査
- 18日 歴史研究活動助成発表会
- 18・19日 飯田アカデミア第25講座「近代日本の政軍関係」開催。講師は加藤陽子さん（東京大学助教授）
- 19日 JR飯田駅特急伊那路10周年記念イベントで『わたしたちの飯田線』販売
- 22日 現代史ゼミ
- 23日 聞き書き『飯田町のくらし2』発行
- 30日 『わたしたちの飯田線』増刷、近現代史ゼミ

4月・5月の催事スケジュール

	4月	2006	5月
土		1	月
日		2	火
月		3	水
火		4	木
水		5	金
木		6	土
金		7	日
土		8	月
日		9	火 近世史ゼミ
月		10	水 現代史ゼミ
火	近世史ゼミ	11	木 近現代史ゼミ
水		12	金
木	近現代史ゼミ	13	土 月例研究会
金		14	日
土		15	月
日		16	火
月		17	水
火		18	木
水		19	金
木		20	土
金		21	日
土		22	月
日		23	火 近世史ゼミ
月		24	水 現代史ゼミ
火		25	木 近現代史ゼミ
水		26	金
木	近現代史ゼミ	27	土
金		28	日
土		29	月
日		30	火
		31	水

開所日 開所時間 午前9時～午後5時
休所日 休所日 日曜日、月曜日、祝日、12月29日～1月3日